

研究

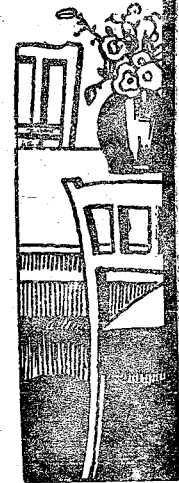
中南米諸國の歴史産業交通の概況

H T 生

中南米の地域と諸國

世界地圖を俯瞰すれば一目瞭然の如く、ラテン・アメリカ、即ち中南米の地域は北は北米大陸のリオ・グランデから南は南米大陸の南端ホーン岬に至る。南北八千餘哩に亘る廣大な地域を占めて、其の總面積は約八百三十萬平方哩に達して、これが丁度世界總陸地の一五・六%に當つてゐる、然るにこの廣大なる地域に住む人口は約一億三千萬で世界人口率に比較すると僅かに六%に當つてゐる。而して

これを我國と比較すれば中南米の人口は一倍半に足らないが、その面積は實に我國の三十一倍の大きさである。従て人口の密度に於ても米國の約四三・五人に比らべて南米は一平方哩に約一二・五人の割合であるから如何に人口は極めて稀薄であるかが判明するのである。而してこの大陸中南米にはブラジル聯邦共和國を始めとしてウルグアイ、エクアドル、コロンビア、パラグアイ、ヴェネズエラ、ボリビア、アルゼンチン、チリー、ペルー等の各共和國があ



り、又中米にはグワテマラ、コスタリカ、エル・サルヴァドル、ホンヂユラス、ニカラグワ、パナマの各共和國とメキシコ聯邦共和國とがある、更に西印度諸島にはキューバ、ドミニカ、ハイチの各共和國があつて所謂中南米大陸には二十の獨立國と極少數の屬領地が存在してゐるのである。而して中南米の人種的構成を見ると頗る複雑化して北米はアングロ・サクソン系一色に塗りつぶされてゐるのに比して中南米は其の主勢力を原住民と白人との混血種族にあるのを見出されるのである。即ち白人とインデアンとの混血種族は大半を占め。これに次いで白人、インデアン、黒人、白人と黒人との混血種族、白人と黒人との再混血種族、亞細亞種族及び其他が包含されてゐる有様である。

コロンプスの新大陸發見前後

翻て中南米の歴史を通觀するとこの大陸が始めて世界に知らるゝに至つたのは彼の千四百九十二年に於てコロンプスの新大陸發見によることは周知の通りであるが、記録に依るとその以前に現在のメキシコにアズテック帝國及びペ

ルー邊境にはインカ帝國が繁榮して居つたとのことであるが、コロンプスの發見以來西葡人の侵略によつて漸次衰亡の一途を辿つた始末である。コロンプスを以て始まつた新大陸の探檢は其後に於いてアロンゾー、アメリゴ等によつて南米大陸の北岸を更にピンゾン、カブラル等によつて現在のブラジルが探檢せられバルボアは巴奈馬地峽方面を横斷して夫々探檢をなしたのである。其後にも續々多數の歐洲人はこの新大陸に渡つて探檢してゐるが當時歐洲では西班牙と葡萄牙の二國は最も海上に活躍してゐたので自然これ等多數の探檢家は西、葡兩國人が多かつたのである。彼のマゼランの一行が南米の南端マゼラン海峽を通過して始めて太平洋方面に出たのも大體この當時であつた。然るに南米の太平洋沿岸の探檢は比較的遅くペルー、ポリビア、及びチリー方面は千五百三十一年から同三十三年に互つて行はれた位である。かくて中南米の大部分は西班牙と葡萄牙の兩國植民地と化したのであるが、その植民政策は全く本國本位で搾取であり又官吏僧侶の横暴と租稅公課の苛斂誅

求或は貿易に對する一方的束縛ゼスイツト教徒の迫害等は續々として惹起したのである。かやうの状態であつたがために中南米の原住民は勿論在留本國人の間にも不平不滿の空氣が充満して居るところに加へて、彼の佛蘭西大革命を契機とする自由民權の思想勃發と北米合衆國の獨立とはこの中南米にも一大影響を與へて以て本國の弱體化と共に獨立熱を煽つたのである。千八百十年ヒダルゴは先づメキシコに於て獨立旗を翻がしたのに始つて執拗なる獨立運動は續き幾多の鬭争が繰り返されたので西班牙政府も遂にこれを承認したのである。其後ナポレオン三世時代に佛軍が侵入して千八百六十三年にマキシミリアン一世を戴く帝國が設立を見たが同六十七年に互つて現在の共和國になつたのである。越えて千八百二十三年には中米聯邦が形成されたが同三十九年に聯邦は解體されて同時にグワテマラ、ホンジュラス、サルバルト、ニカラグワ、コスタリカの五小共和國が現出してゐる。

續々として獨立を計る

更に西印度方面ではハイチ島はコロンプス探檢以來西班牙の植民地であつたが其後幾多の變遷を経て千八百四年に獨立を宣言し、又ドミニカも西班牙の支配下を脱して千八百四十四年に米國の援助によつて獨立してゐる。キューパも亦千八百九十八年に米西戦争の結果米國の強制に依つて西班牙から獨立の承認を獲得してゐる。他方南米の北部地方に於ては千八百十年ニュー・ガラナダの植民地に獨立運動が起つて大コロンビアが形成されたが同三十年にはニュー・グラナダ、後ちのコロンビア、ヴェネズエラ、エクアドルの三共和國が誕生してゐる有様である。而して千九百三年にはコロンビア領であつたパナマが運河開鑿を辿つて米國の絶大なる援助の下に獨立をなし、又南米南部ではブラタ植民地に獨立戦争が勃發して千八百十六年には後のアルゼンチン即ち當時のリオ・デ・ララ・ブラタ合衆國が獨立したのである。智利もまた千八百十年に反旗を翻して其後十年間の苦闘を経て同十八年には獨立に成功したが、ペルーは千八百二十五年に漸く宿望達して獨立してゐる。

ブラジルもまた同二十二年に獨立を宣言してゐるが、かやうに中南米諸國は次ぎ／＼と獨立して居るが併年らその歴史は亞細亞若くは歐洲に比較すると頗る淺くしてその獨立は漸く十五世紀末に始まり十九世紀の中葉を以て一應その獨立が完成を見たのである。而して今茲にこれ等獨立國の經濟現狀を大略的に見ると。

各獨立國の經濟狀態の概要

南米に於ける最大國であるブラジルは南米東部にあつて、聯邦共和制をとつて居るが、米國の積極工作の結果親英米色は頗る濃厚である、經濟的方面を觀察すると農業國であるが未だ大部分は未開發に屬してゐるが、コーヒーは世界産額の四分の三を占めてこの國の最も重要な産物である。從てコーヒーの輸出額は全輸出の六〇乃至七〇%を占めてゐる其他カカオ、棉花、砂糖、煙草、玉蜀黍、植物油、熱帶果實等を産し又林業も重要産業の一人で木材は主としてアルゼンセンに輸出されてゐる。更に鑛物資源も豊富であるが、現在では未だ開發十分ならずして僅額なれども

鐵鑛、マンガン、石炭等を産してゐる。工業方面はこれ亦幼稚であつて紡織業が最も盛んであるが、煙草工場も各地にある、貿易關係を見ると。大戰以前は米獨と盛んに行はれて輸出はコーヒー、棉花、カカオ、獸皮等をなし、輸入は機械、自動車、鐵鋼、小麥、石炭、ガソリン等である。而して現在に於ては樞軸國側とは國交斷交を公表してゐるから貿易も勿論ないが、米國との貿易も船舶不足によつて麻痺狀態に置かれてゐる有様である。次にウルグアイとエクスアドルの兩南米國を見るとウルグアイ共和國は全土の六割は牧畜地で從つて家畜及び關係製品は輸出の九割五分を占めてゐるが砂糖も亦千九百四十二年には三百九十萬噸を産してその内三百萬噸は米國が獨占購入してゐる状態である、この國も四十二年一月二十六日日獨伊と國交斷交をしてゐる。又エクアドル共和國は農業を主としてココアを産して輸出の如きも約三分の一を占めてゐるがその外にコーヒー、石油、シアン化鑛物、金銀等も、この國の重要な物産となつてゐる。我國とはまた國交斷交の状態にある。

コロンビア共和國は土地は至つて肥沃であるがその大部分は現在尙ほ未開地が多く従つて經濟的には左程見るべきものはないがコーヒーはブラジルに亞ぐ世界第二位の産額を有し其他に煙草、バナナ、カカオ等を産しまた地下資源では金、銀、石油等鑛産資源には富んでゐる。この國もまた千九百四十一年十二月に對日國交を斷交してゐる、更に南米中部にあるパラグアイ共和國はコロンビアと同様土地は頗る肥沃で氣候も良く従つて農牧林業は盛である殊にマテ茶はこの國の特産品である對樞軸國との關係はやはり千九百四十二年の二月に國交斷交をしてゐる。又ヴェネスエラ共和國は南米北部にある一小共和國であるが産業的には全土は農、牧、森林の三地帯に分れて住民の二割は農民にしてコーヒー、カカオ、甘蔗、棉花等を産し牧畜林業も相當に發展してゐるが鑛産も豊富であり石油の如きは世界の第三位を占め其他にはアスファルト、金、石楠、岩鹽等も産出をする外に國土の大部分は熱帯に屬してゐる關係上ゴム類、トンカ豆、バナラ等の熱帯産物もある千九百四十一年

一月に日獨伊の三國と國交は斷絶してゐるがボリヴィア共和國も亦南米にあつて、全土の四分の一は未開發なるが護は南米諸國中に於てブラジルにつぐ産出を有してゐる。

鑛産はアンデス山脈を西に控へて埋藏量は豊富であると云はれてゐるが未だ開發は不十分の状態にあるがアンチモンは支那と共にこの國は重要産地であり又タングステンは世界第五位の産額を占めてゐる有様である千九百四十一年十二月に米國と武器貸與協定が成立してその十一日には對日宣戰を布告してゐる有様である。

中米方面諸國の經濟狀態概要

更に中米方面の各共和國の狀態を見ると、彼のパナマ地峽の開鑿に關聯して獨立の條件として米國に運河開鑿權を與へたるパナマ共和國は、經濟的にはその産物はバナナを主としてコーヒー獸皮位であるが、茲に筆の序いでを以てパナマ運河の問題を略記すると、全體パナマ地峽の開鑿は單に米國の東西海岸を數千哩も接近せしめたのみではなく、北米の工業中心地と原料資源の寶庫並に販賣市場とし

て極めて重要な南米西部諸國との距離を半分以上を縮めた結果となるのである。米國は千九百四年の二月に成立したバナマ共和國との條約に於いて、幅十七キロに及ぶ運河地帯に對して主權を獲得したのであるが、この地帯には米國は參戰以前から嚴重なる防備を施して參戰と同時に軍事占領が實現してコスタリカ及びコロンビアの兩國國境に至るまでと太平洋兩洋にある諸島嶼にまで軍隊の進駐權を獲得して居る。近年米英兩國の大艦建造に伴ふてバナマ運河の擴張が問題となつてゐるがこれは現在同運河の閘門が幅員三十三米突五十センチであるから米國の最大主力艦の幅員三十二米突九十センチのは通過出来ないとの理由に基くのである。例ひその主權は米國にありとは云へバナマ共和國内にはかやうに米國にとつては重大なる運河地帯を擁して居る、この國も亦千九百四十一年十二月に樞軸國側に對して宣戰布告をなしてゐる、バナマに接する中央のコスタリカ共和國も亦對樞軸國家に宣戰布告して居るが、コーヒーを始めバナナ、カカオ等の農産物を主とする國であ

る。更に中米のサルवादールとニカラグア兩共和國は前者は中米諸國中の最小國であつて、人口の密度は中米諸國中の最高に達して全土の八割まで耕作され従つて世界最高の耕作率を持つてゐる、生産物は殆んどコーヒーのみで他は見るべきものなく千九百四十年のコーヒー輸出は百三十萬俵に於いて六十萬俵は米國に輸出してゐるこの小國も亦樞軸國側に宣戰布告をなしてゐる。後者のニカラグア共和國は千九百十六年に米國にプリトからニカラグア湖を経てグレイタウンに至る所謂ニカラグア運河地帯に對する獨占權を與へた國であるが經濟的には木材、コーヒー、砂糖、カカオ、バナナ等が主産物である、千九百四十一年二月にこれ亦樞軸國側と宣戰布告をなし更に米國とは經濟協定を成立して居る。

メキシコ油田と米國の關係

ホンデユラスも亦中米にあつてその面積は十五萬四千キロを有する一小共和國であるが農牧を主としてバナナ、カカオ、コーヒー、烟草、バナマ帽等を産しまた礦産物は金

銀等にて國內の河川では住民は原始的方法によつて金を採取してゐる對獨伊に宣戰布告してゐる有様である。次は彼の米西戰爭の結果獨立を見たる北米カリブ海西印度諸島中にあるキューバ共和國は甘蔗糖の産額は世界第二位と云はれて居り、烟草と共に二大産物をなし、其他コーヒー、カカオ、果實、馬鈴薯、鐵鑛銅等を産出してゐるが千九百四十一年には對獨伊に對して宣戰布告をなし次いで同四年には米國との間に飛行訓練と對樞軸國潛水艦作戦の便宜供與に關する協定をなして居る。更に北米西印度諸島にあるハイチ國も亦島與の一小共和國に過ぎないがこの國は我國が米英に宣戰布告した即ち一昨年十二月八日の翌九日に日本に對して宣戰を布告してゐる、經濟的にはコーヒーを第一産物としてカカオ、棉花、烟草、砂糖、木材等を産出するか取るに足らざる弱國である。又ペルーは南太平洋岸にある共和國であるが、この國は至つて灌漑用水に恵まれて、住民の約八割は農業に従事して棉花、砂糖、コーヒー、カカオ、米、キノ、烟草、羊毛、獸皮等を産し殊に海鳥糞は

この國の特産物であつて世界一の産量を有し。鑛産物は金、銀、銅、石油等も豊富にしてヴァナジウムの如きは世界産額の八割を占むる状態である。グアテマラ共和國は中米にあるがコーヒー、バナナ、木材、砂糖及びチューイングガム用のゴムを産して米國に輸出してゐるが、千九百四十一年十二月十二日に對樞軸國側にこれ亦宣戰布告をしてゐる小國である。最後にメキシコ聯邦共和國を見ると所謂この國は銀と石油の産出を以て世界にも知れてゐる如く世界最大の銀産國にしてその産出額は世界中の四〇%を占めると同時、石油埋藏量は世界の約八分の一を有すると云はれてゐる、その外に鉛及びアンチモニーは世界第二位金は第六位の産額を有して、統計に依れば千九百三十九年の産額は石油六百十五萬噸、銀二百三十六噸、鉛二十二噸、アンチモニー七百三十九噸、金二萬九千四百噸を産出して居る。一體この國の對内外政策は専らこれ等の原料資源の開発問題によつて決定される有様であつて、メキシコ油田を繞る角途は對外政策に於て從來は米國と屢々紛争を招き延いて

は國內政治に至大の影響を及ぼして幾多の革命を惹起した位である、カマチヨの政權掌握と共に親米妥協政策に轉して、資源の共同開發協定が成立したが、我國の對米英宣戰の翌九日には亦この國も樞軸國側に國交斷交をなし、更に洪羅勃等の諸國と國交斷絶をなしてゐたが、昨年六月に至つて樞軸國家に對して宣戰布告と同時に米國と共同防衛委員會を組織してメキシコ海空軍は米艦隊に編入された有様である、この國の農業は土地に適して玉蜀黍、米、砂糖、棉花、小麥、コーヒー等を産し特にユカタン半島に産するシザル麻は世界産額の五〇%を占む程である、大體以上は南米大陸に於ける二十箇國の大略的に見る國狀である。

中南米の資源産業の綜合的觀察

而してこの中南米の資源及び産業方面を綜合的に觀察すると元々初期の植民地時代から中南米の富源を過重に評價するの傾向があつたか、實際に於ては近時明白になつてゐる僅少なる歐洲諸國の植民地は別問題として世界に於ても一二強大國の直接支配下になつてゐるところは原料生産地

帶であるところであるが、その輸出價格の如きは世界總輸出額の一〇%以上に達して且つその輸出價格の約三分の一は原料生産であることでも略ぼ推測出来るのである、而してこの大陸の世界輸出市場における重要性はこの地帯が種々の重要資源を獨占してゐる事實に依つても判明するのであるか即ちその顯著なるものはコーヒー、バナナ、硝石、シザル麻等の主要品がある、殊に中南米の産業を見ると、これらの豊富なる農産並びに鑛産資源を背景として一般に農業牧畜及び初期的段階の鑛業は頗る盛んであるが、製造工業は未だ發展の途上にある特に鐵石炭が比較的缺乏してゐる關係上、重工業は殆んど未發達の狀態であるが、輕工業たる綿工業製肉工等々は近年著しい發展を示してゐる。而して鑛産資源關係を稍々具體的に見ると先づ石油、銅、銀、錫等は比較的豊富に産出されるが併しこれ等の鑛産物を西半球の觀點から見るときは銀を除いては何れも米國が支配的地位を占めてゐる。併乍ら戰略的資源と見做されるクローム、マンガン、ボーキサイト、アンチモニ、タン

グステン等には中南米の方が優越的なる地位を占めてゐる。今他の鑛産額は備て置いて戦時及び平時の動力源として最も貴重なる石油生産額を統計的に見ると。

中南米原油生産諸國に於ける生産額

「單位千バール」

國名	一九一九年	同三十三年	同三十八年
ウエネズエラ	一七、四七三	二七、七〇〇	一七、三六九
メキシコ	四、六八八	三、〇〇五	三、四七一
コロンビア	一〇、九九五	一三、六〇〇	三、四四〇
ペル	一三、四三〇	一三、五六六	一五、八三八
アルゼンチン	九、三九二	一三、六九二	一六、九七〇
トリニダット	八、七二六	九、五六一	一七、七三六
エクアドル	一、三八二	一、六二〇	二、四八三

であつて、これを世界生産に於ける%の比較は千九百二十九年度は一五・八同三十三年には一四・二同三十八年度には一五・〇となつてゐる、更に銅は中南米主要資源にて銅金屬の世界總生産額の五分の一を供給し鐵に至つては現

在に於ては石炭の生産額と共に比較的に尠なく従つてこの重要資源を根據として居る重工業の進展が中南米では制限を蒙つたのもその原因である。鉛は千九百三十八年に於てはこの大陸に於いて世界生産額の五分の一を産出したのであるが殊にメキシコの如きは世界總生産中米國に次いで第二位にある程である、又アルミニウムの原料として知られるボーキサイトは千九百三十七年の中南米に於ける總生産額は約六十九萬七千四百米突噸、即ち世界總生産額三百五十萬噸の約五分の一に達してゐる更にタングステン、コンセントレートの世界生産額は同三十六年では二十四萬七千五百米突噸中この大陸の生産額は二千五百九十九噸にして即ち一〇・五%の割合に當つてゐる。更にクロームは同三十七年に於ける世界總生産額千五百噸中の産出割合は約一〇%であるか主要生産國キューバの生産額は殆んど全部米國へ輸出されてゐる有様である。又アンチモニ及びニツケルは前者は中南米に於てはこの種の資源は比較的豊富にして、千九百三十七年度にはこれ亦世界總生産額三萬四千

五百噸に對して一萬四千五百七十噸即ち四二%を産し後者は西半球に屬するが加奈陀が世界總額の約八五%の生産率を占めるために、この大陸の地位は比較的に低位であるが併乍ら相當の地下資源を有してゐることは注目すべきである、又水銀はこの大陸中でもメキシコが獨占的主要生産國であるか同三十七年の産額は一萬七千噸餘に達し世界總産額の割合は六・七%と云はれてゐる、その他に亞鉛ヴァナジウム、ブラチニウム、錫、マンガン、硝石等が産出されるが金は主としてギアナ高原、ブラジル平原及びアンデス山脈の北部に産出されて、この産額は千九百三十年の五十萬オンスから同三十八年には百七十七萬九千オンスに躍進してゐる、銀は世界總額の約四二%を産出して例のメキシコ銀と呼はるゝメキシコでは三〇%其他はペルー等のアンデス山系から産出されてゐる。

中南米の農業方面

纏つて今度は中南米に於ける農産資源の方面を總括的に見ると、世界に對してその消費量の五十%以上を輸出する

ブラジル・コーヒーはブラジル國家の經濟の根幹たらしめて居る、これと同様の見方については農産資源ではないがチリーの銅及び硝石、アルゼンチンの穀物、肉についても夫れである先づこの中南米に於ける農産物はコーヒー、小麦、亞麻仁、砂糖、カカオ、バナナ、棉花ゴム等であるが、最近特に棉花が經濟的意義を持つやうになつて來たが、これはこの大陸に於て千九百二十五年から二十九年間に於ける棉花生産額が年平均二十五萬八千噸で世界總産額に對して僅かに四・五%位であつたのに同三十七年には約七百二十七萬噸と世界總産額の八・八%に躍進して加ふるに産額の約四十二%餘が海外に輸出され、且つこれが世界棉花貿易の九・五にも達したので中南米は棉花の供給地としてその意義は俄かに加つたのである、今茲にコーヒーと云へば南米を思ふ位にこの大陸からのコーヒー輸出額を統計的に見ると、「一九三八年……九年」單位袋」

國名	輸出額	國名	輸出額
ブラジル	二六,六八〇,〇〇	コロンビア	四,二五〇,〇〇〇

中米諸國 二、四六、〇〇〇 ヴェネズエラ 五、〇〇〇
 メキシコ 五、〇〇〇、〇〇〇 エクアドル 一六、〇〇〇

となつて居る、又砂糖に於ては同年度に世界消費額は二千九百三十萬噸の推定に對して、中南米からの供給額は、南米諸國主としてブラジル、アルゼンチン、チリーは二百一十二萬噸餘、キューバ共和國は二百七十五萬噸、ポールトリコは八十六萬噸、西印度諸國よりは五十二萬八千噸、メキシコは三十萬噸、中米諸國は八萬八千噸を世界に供給してゐる狀況である、又カカオは中南米から世界に供給する量は世界總額の約三分の一を産出してゐる、更に穀類及び亞麻仁に至つては小麥生産はアルゼンチンが獨占的地位にあつて中南米の小麥輸出先並に其の割合は英國に一九・七%、伊太判に一九・六%、獨逸に一三・五%、佛國に一六・三%の比率を大體千九百三十七年度以來示してゐるが、今次の世界戦争に依る歐洲市場の閉鎖は玉蜀黍、亞麻仁と共に大なる影響を受け、殊にアルゼンチンの如きは小麥の過剩生産に悩んでゐる有様である。

千九百三十三年……同三十七年間に於ける中南米穀物生産額

「單位米英噸」

小麥	六、三〇五、〇〇〇	生産	三、五七〇、〇〇〇	輸出額	五、七三〇、〇〇〇
亞麻仁	九、七六、六〇〇	生産	六、九四五、七〇〇	輸出額	二、八二〇、九〇〇
玉蜀黍	一、七三、三三〇	生産	一、六二、九六八	輸出額	〇、一〇三、三六二

となつて居る、更に牧畜方面を觀察すると、この大陸は氣候の快適草木の繁茂等は自然の廣大なる牧場地を形成して植民地時代から各地で行はれて來たが就中アルゼンチン、ブラジル、ウルグワイ等は最も盛にしてアルゼンチンの如きは牛三千三百二十萬頭、羊四千三百八十萬頭、ブラジルは牛四千九百九十七萬頭、羊千三百餘萬頭を飼育して居ると云はれて居る、其の他の中南米諸國に於ても牧畜業は相當盛である、更ればこの豊富な家畜を背景として製肉業は盛んに行はれて殊に冷蔵冷凍肉の工業は最近頗る顯著なる發達をなしてゐる、而して世界肉貿易の約八十%は南米に依つて占められてゐることである、羊毛も亦この大陸は生産地として濠洲に次いでの世界第二の輸出額を有してゐる。

中南米の工業方面

更に進んで中南米に於ける工業方面を觀察して見ると。全體この大陸は原料生産物の生産及び輸出に依つてその經濟を立てる事が可能である結果、工業方面に關心を與へることが少くために工業の歴史は比較的淺く且つその規模も亦比較的に小である。併乍ら前世界大戰は中南米が従來より依存して居たところの工業輸入品が杜絶するに及んで應急處置として地方工業の促進を計つたのでその結果彌々幾多の製造工業が起つたのであつた。加ふるに彼の千九百二十九年から始まつた世界經濟界の恐慌は外國輸出市場の急速閉鎖價格の低落等の甚大なる打撃と共に輸入制限を餘儀なくせしめたのであつたが、これに續いて歐洲國內に於ける自給自足運動や、又英國の領土内の特惠制並に原料需要の減退及び外國クレヂットの停止等は益々輸入制限の要因となつて、この輸入制限に依つて中南米の工業は促進の原因ともなつたのであるが、さりとて現在中南米に行はれてゐる工業は一般的に見れば米國の如きものではないので

ある、而してその工業的特徴は石炭、鐵等の不足並に資本の缺乏勞務者の拂底等に制約されて重工業方面の發展は期待すべき程度にまで到達せずして單に輕工業方面に彌々發展の一途を辿りつゝある狀況である、要するに中南米は前記したやうに八百萬平方哩の廣大なる土地と人口一億二千五百餘萬を有して富裕なる消費層と比較的豊富なる原料資源を擁する世界の最大の商品市場と共に原料資源の供給地たりと見て可なりであるが、その交通狀態に至つては比較的にその發達は遲延して居る有様である、最近では沿岸地方を中心として顯著なる發達を來たしたと云ふもの、未だ奥地方に至つては道路に於いても頗る不完全なるものが多く従つて中南米の重要資源の開發を著しく阻害してゐる有様である。

中南米の交通狀態

先づ中南米の鐵道狀態を大略的に見るにこの大陸に於て最も鐵道の發達し居るのはアルゼンチンである、即ち千九百三十八年末におけるその總延長軒數は約四萬二千軒以上

に達してゐると云はれてゐるが首都ヴェノスアイレスを中心としたる鐵道網の發達は日本でも尙ほ夫れ程でない位であるとのことであるが、總軒數ではこのア國に次いで發達してゐるのはブラジルである、この國の鐵道局の發表に依ると千九百三十五年現在に於て三萬三千三百四十八軒である。これを面積上から見てもアルゼンチン國よりは大分劣つてゐる、而してこれらの鐵道の多くは南部のリオデジャネロを中心とした單にその一部に互つてゐるのであるが故に鐵道發達の狀態は不完全の狀態にある、更にブラジルに次ぐ鐵道の發達順序はメキシコである。この國の鐵道は千九百三十八年現在に於いて總軒數は二萬四千軒である、最初は主として英國資本の支配下にあつたが前大統領のカルデナスの國憲回復運動の結果現在では殆んど國有に歸してゐる、全體この中南米に於ける鐵道經營の支配權を握つてゐるのはこれまで英國が主たるものであつて、例へば中南米隨一を誇るアルゼンチンの鐵道の如きは僅かに二十三%は國有鐵道にてあとの全部は私營鐵道であるが、其の大半

は英國の資本に依つて出來上つてゐる狀態である。最近メキシコに於ても漸次國有となりつゝあるが、それでも尙ほ英國は同國の鐵道に對して資本の關係上相當の權力を持つてゐる有様である。又ブラジルに於ても私營鐵道一萬六千軒に達する内その大部分は外國資本の投資に依るが特に英國資本の力はこの國の鐵道經營に大なる支配力を有してゐる、英國はかやうにこの大陸の鐵道に對して投資が主力を集中してゐるが、その外に港灣の設備にも相當の投資を行つてゐる。更に中南米交通路について最近特異的なる發展を來たしたのは航空路の發達である、現在中南米を通じて内外資本下にあるものは全部で三十五會社の多きに達してゐる狀況にてロンドン、ダカール、リオデジャネロ、サンチャゴ線、ダカール並びに南米一週線、チリ、アルゼンチン間線等種々の航空線が發達してゐるが殊に米國の中南米の航空路進出は最近に至つて殊に積極的となり、カリブ線、南米東西廻線其他大小十餘の路線を經營して現在迄の所中南米航空路の最大なる支配權を握つてゐる、而して中

南米に於ける主要航空路の經營は主として外國會社の手に行はれてゐるが、今次の世界戦争の影響に依つてこれらの航路には大なる變化が見られる事は必至の傾向である。

中南米の道路交通と海運方面

更に道路交通に至つては中南米の地勢が物語る如く、この大陸の道路交通状態は海岸地帯を除いては未發達なる状態にあるがために奥地方面は未開發の所謂ジャングル地帯と高原地帯が多く、従つて鐵道も道路の布設も行はれてゐないのである、殊に土人は道路に關する知識なく只だ單に自然の草木を分けて極く僅かに交通するのみであるから道路と云ふが如きものは奥地では皆無と云つてよい位である、併乍ら沿岸地方の都邑を中心とする道路は相當に發達して立派なる自動車道路が至るところに通じてゐる。これらの道路は交通と貨物輸送に相當寄與してゐるが殊にアルゼンチン、ブラジル、メキシコ、チリー等には自動車道路の發達してゐるのは目立つ位である、改良された近代道路はこれらの都會には殊に發達してゐる、さりながら全體

を通じて中南米の道路は未だ資源開發産業振興には餘りに役立つところに到着してゐないのであつて、これがために一面に於ては豊富なる資源開發を多分に遅延せしめて居るとも云へるのである、更に中南米諸國の交通問題で見落せないのは海運方面であるが、元來中南米諸國の船舶は決して十分でないために主要部分は先進國の海運に依存して居る有様であつたが、今次世界戦による英國船舶の損失、獨伊船の引揚等に依つて船舶の不足は益々深刻化して船舶問題は近時中南米沿岸諸國に於ける新なる重要問題となつて來てゐるやうである。日本でも戦前までは日本郵船は定期航路を配置して居たが大阪商船も亦阿弗利加延長線、世界一周線は主として南米東海岸の諸港に寄港して居たのであつた、更にパナマ運河の開通はこの中南米の交通史上に劃期的意義を持つやうになつたのであるが、千九百三十八年の發表に依ると一年間に於けるこの運河を通過したる各國の船舶数は九千五百三十四隻その通過料は二千三百二十四萬弗に上ることである、この開通に依つて中南米の

海上交通路は一段と發展を遂げたのである、最近この運河の軍事的方面から見ての重大性に鑑みて運河地方を支配する米國の防備状態は益々嚴重を極め而してこの運河地帯を中心としての國防道路網も實に堅固に幅員も百米突の鋪裝道路が縱横に交錯して軍事的意義によつて道路の發展は大いに見るべきものがあるとのことである。

米國の中南米強壓政策

大東亞戰爭勃發後の中南米の動向については日本が米英兩國に宣戰布告したる當日既に中米のコスタリカ、ニカラグワの兩國は米國の宣戰布告を俟たずして我國に宣戰布告をしたが、其後中南米の諸國はアルゼンチンを除く殆んど全部が樞軸國に宣戰布告をしてゐる、これは取も直さず大體に於いて經濟的にも軍事的にも對米依存性が最も濃厚であるのと共に米國の強壓に抗し切れない關係であるとするべきである。米國は開戰と同時に必死の努力を拂つて、對南米工作に乗出すと共に一段とその政策は露骨となり積極的に種々なる工作を施してゐる、即ち其の一例として米國

政府は日米開戰の約二週間以前に蘭領ギアナに派兵する旨を發表したが、夫れは蘭領ギアナがアルミニウムの原料であるボーキサイトの米國需要料の約六割を供給する重要原料供給地であり、又その地域は米國國防のみならず、西半球及び侵略に抵抗しつゝある諸國の總ての防衛のため必要なものであるが故に安全確保は絶対必要である」と云つてゐる、然しこの危険は如何なるものかは明瞭でなく、米國はこの積極政策をカムフラアジユするため和蘭政府の同意とブラジル政府の支持の下に決定したのであると發表してゐるが兎も角米國の中南米諸國に對する強壓は層一層と加重されつゝあるのであつて亦その他面に於いては米國は今年三月に至つてコスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラダカ、サルヴァドル、ドミニカ、ハイチの南米洲七ヶ國駐在米國公使館を大使館に昇格して、これに呼應して七ヶ國の華府公使館も昇格すとのことであるが、米國政府はこの措置を以て所謂善隣主義の現れであると宣傳してゐるが、これは米洲諸國の對米協力に酬いること少なき米國政

府の狡猾なる懐柔手段に過ぎないのであつて、米國商業會議所會頭エリツク・ジョンストンは最近ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ、チリー、ペルー、コロンビア等の南米諸國を歴訪して、南米市場獲得計畫をなしてゐると云はるゝが彼が戦後五分々々の原則に基き米國經濟に依る南米開發を實行する廣汎なる計畫の概要をル大統領に報告したるが南米諸國は戦後米國が南米開發に資本を投下し經營の指導と技術の援助を興へることを熱望してゐる、これに依つて南米の生活程度は向上し労働者等は増加するであらう、米國も亦投下資本からの利潤並に南米向け資材商品生産によつて就職労働者數増加の利益を得るであらう、更に大量輸送の方法によれば南北兩米大陸間の旅客運賃を半減せしめ得る、これが實現には現在の煩瑣なる旅券手續の代りに簡單なる旅行許可制採用の必要がある、又開發は政府の後援によらず、民間經營の基礎に立つ民間貿易を通じて實行すべきである。戦後南米開發案は未だ漠然とした計畫の範圍を出て居らぬが大いに研究することにした、と視察報告

して居るが、これ等も又米國が南米發展策に名を藉りて南米市場を狙ふ狡猾なる一策であると思はれる、兎も角米國の中南米に對するおどしたり、すかしたりする所謂強壓と御機嫌取政策は南米のエ・ピ・シと稱せらるゝ國々も次第に其の魔手に魅みられつゝあるが、今後に於ける米國の世界制覇の一大野心は中南米に於ても一段と強壓政策と化するに至るべく、現にルーズヴェルトは這般汎米デーに於いてワシントンに本據を置く汎米聯盟にメツセーヂを送つて米洲諸國の結束を促して居るが、ハルも亦「現段階に於ける反樞軸國の戰爭遂行の努力を自畫自賛した中に米洲諸國の採るべき原則的政策を繰返して力説し以つて汎米諸國が完全なる結束し得ることが其の主權の尊重と平等條約の設定友情と協力にある」と暗に米國に追従を要請してゐる有様である、要は米の動きは充分なる注意を以て見ることは敢へて他山の石ではないのである、茲に中南米の歴史産業交通等に於ける概略を擧げて讀者諸賢の參考に供するのである。